

# 東京病院ニュース

第20号 2008年1月1日発行



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院  
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1  
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168  
ダイレクト・イン・ダイヤル 042 (491) 4134  
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>



東京病院屋上から臨む新春の富士山

病院長 四元秀毅撮影

## 「ギャップ」をうめる

最近の新聞紙面を賑わせているのは世界的な株価下落ですが、その背景にある米国サブプライムローン破綻に関連する損失金の総額は底なしの感があります。これがある種の「ネズミ講」まん延によるバブルの崩壊かという、そのような偶然の出来事ではなく、行き過ぎた低金利政策や市場主義が招いた構造的現象との指摘もあります。財政破綻は社会混乱を来すので、十分に注意して舵取りをしてもらいたいものです。

ところで、わが国では人口高齢化に伴い医療ニーズが高まるばかりですが、医療費削減政策の影響もあり、医療における需要と供給の間のアンバランスが生じています。なんとかしようというわけで医師確保のための応急策がいろいろと講じられていますが、抜本策がとられないかぎり問題は解決しないでしょう。さらに、開業医・勤務医間の条件の解離のために苦勞のわりに報いられることの少ない勤務医の現場離れが進んでいます。今後、公的医療機関をはじめとする基幹病院での医師不足はいつそう深刻化するかもしれません。

そのような状況のなかで、国立病院機構の病院はかつての「政策医療」から「地域医療」に軸足を移しつつあります。「地域医療」の究極は「いつでも、どんな病気でも診る」ということですが、これは言うは易しく行うのは難しい課題です。これを全うするには医療スタッフの「質」・「量」の大幅な整備が必要で、理想的に行うにはわれわれの病院でも医師数だけからいっても現在の何倍かが必要になるでしょう。

このような拡充がすぐ実現できるはずがないのはいうまでもありませんが、それでも日々の診療のなかで最善を尽くし、地域の期待に応えていかなければなりません。今年の（今年も）われわれの課題は「なすべきこと」と「できること」の距離を縮めることです。まず、従来からの特徴である「呼吸器（外）科」、さらに「消化器（外）科」・「循環器科」を充実させ、「神経内科」・「リハビリテーション科」・「眼科」・「整形外科」・「放射線科」などを拡充し、また、新たな診療科を開設することでいっそう皆様のお役に立てる病院になることを念じています。

病院長 四元秀毅



本年もよろしくお願いたします。（東京病院屋上にて）

前列左より 野宮看護部長、茅野統括診療部長、四元病院長、  
中島副院長、倉島臨床研究部長  
後列左より 勝又事務部長、森管理課長、小林企画課長、三上薬剤科長、  
戸丸経営企画室長、藤間庶務班長



## 『国立病院から国立病院機構へ』

国立病院・国立療養所は、行政改革会議報告書において特定独立行政法人化（公務員型）が決定され、厚生労働省健康局国立病院部で所管していた国立病院・国立療養所及び国立ハンセン病療養所が、平成16年4月から国立病院機構146病院、国立高度専門医療センター8病院、国立ハンセン病療養所13療養所に組織替えが行われ、国立病院機構では、個々の病院が個々の法人格を持つのではなく、146病院が1つの法人として運営を行うこととされております。

独立行政法人格の事務・事業としては、公共上の見地から確実に実施されることが必要なもので、かつ民間の主体に委ねた場合必ずしも実施されない恐れのあるものとされています。

国立病院機構は、特定独立法人へ移行することによって、明確な数値目標を掲げ中期計画の策定（5年間）、企業会計原則の適用などの新たな仕組みが導入され財務運営の自主性、裁量性が拡大され、より柔軟な運営を行うことが可能となっております。

# 年男・年女

## 今年の抱負

呼吸器科医長 豊田恵美子

今年「年女」の戯言を。干支がひとめぐりして、暦が戻るといふ還暦を迎えて、思えば長くきたもんだと感慨深くもあり、実は数年前から同窓会などからなにかやらかそうとお誘いもあり、その実、年賀状に還暦だと印刷したばかりにいざとなると恥づかしく本当のことを書いてなぜ悪いと思いつつも全く出しそびれてしまいましたので、この場を借りて「今年もがんばりましょう」とメッセージを送ります。世の中のスピードについてゆけずとりあえずやることが山ほど溜まって窒息しそうですが、私には先祖の不良の血がながれているせいで、子供のころからすぐにエスケープする性格ですからご注意を。でもなるべくご迷惑かけないように心掛けます。この年齢になると、残り時間が少ないためでしょうか、身の周りの自然や人々やときには仕事さえこれまでふつうにあったものがとても愛おしく大切に思われて、ちょっと素敵です。

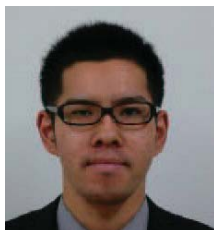


## 今年の抱負

契約係 前島拓人

明けましておめでとうございます。皆様のおかげで2回目の年男を迎えることができました。決して3回目ではありません。今年は、自分の担当の仕事のみならず、他の仕事に関しても学び、スペシャリストよりもジェネラリストを目標とし、日々努力していきたいと思っております。

また、今年は2回目の年男であると同時に厄年でもあるので、ミスのないよう常に最善の注意を払い、より一層気を引き締めて業務に励む所存ですので、未熟者ではありますが今年も宜しくお願い致します。



この様なことから病院運営は、赤字にならないように収支相償を目指し運営していかなければなりません。また、国時代とは違いほとんど税金からの投入が無く、独立採算制がとられています。

東京病院も国立病院機構の一病院として、「結核を含めた呼吸器疾患を中心とした政策医療分野の基幹施設」、「肝疾患に関する専門医療施設等としての役割」等の診療機能を担い今後も、この地に於いて「医療を受ける人の立場に立って人権を尊重し、安全で質の高い医療を提供します。」この基本理念の基に国立療養所東京病院から国立病院機構東京病院に名称変更をしこの地域にとって信頼される医療機関となるよう新たな気持ちで出発したところであります。

国時代から独立行政法人国立病院機構になって、第1期中期計画の4年が経過したところでありますが、「如何でしょうか」病院なりに一生懸命に取り組んで着実に推進してきたと思っておりますが、接遇面等「皆様からの声」では非常に厳しい評価もあり、また、反面嬉しいお褒めの言葉もあります。今後においても「皆様からの声」に耳を傾け当院が患者さんにとって信頼を得るために更に努力をしていきたいと考えております。

また、在院日数の短縮や地域医療連携等にも取り組んでできました。さらに、安全で安心な良質な医療の提供を目指し、今後とも地域に根ざした病院にしていきたいと考えております。

事務部長 勝又正夫

## 今年の抱負

3西病棟 看護師 長壁京子

明けましておめでとうございます。新しい年が明けました。日本人にとって新年は特別な意味があるように思います。それはただ年が変わるということだけでなく、全てが新たに一から始まるという意味で、この世にあるものは新しい生命を持ち生まれ変わるという古代からの考えに基づいているものです。

この思いにあやかり、私も心機一転「今年こそは！」と一念の生活目標を立て決意を固めようと思いました。「今年こそは！」と幾つか思うことがあります。その一つは「人との関わり」を大切にしようと考えています。日々慌ただしく仕事をしていると、この当たり前前のができなくなってしまいます。今年はこの「人との関わり」に敏感になり良い人間関係を持続させたいと思っています。

二つ目に健康を保持することです。私の何よりの宝は「健康」で、「いつも元気ですね！」と周囲の人たちから感心される程です。その宝を大事にしたいと思います。

今年は患者さま、ご家族の方、医療チームのメンバーと良好な人間関係を築きながら、自分自身も健康で心の優しさを忘れず患者さまの立場に立った看護を実践していきたいと思っております。

## 今年の抱負

1病棟 看護師 甲斐美智子

看護師になりもうすぐ1年が経とうとしています。やっと日々の業務にも慣れてきました。今年は自分の心にゆとりを持って、患者さまや御家族にきちんと話が出来るように心掛けていこうと思っています。そしてそこから良い看護につながるように、医療チームの一員として頑張っていきたいと思っております。







## 4 東病棟紹介



4 東病棟は、消化器外科病棟です。食道・胃・大腸・肝臓などの消化器腫瘍や胆石、虫垂炎、鼠径ヘルニアの手術を行っています。入院日数が短いため、正確な情報収集を行い事故防止に努めながら、患者様の気持ちに寄り添う看護を提供しています。



患者様の情報交換中！



ガーゼ交換中。  
お腹の消毒をしますね～！



頑張って歩きましょう！

病棟では、手術を受ける患者様の看護を主におこなっています。手術前は、患者様が安心して手術を受けられるようにサポートしています。手術後は早期離床が図れるよう、疼痛コントロールを行い、患者様の状態に合わせて援助しています。消化器の手術を受けた方には医師・栄養士とコンタクトを取り、退院後の食生活が不安なく送れるようサポートしています。

また、化学療法や、大腸内視鏡検査のために短期入院する患者様も多く、安全に気をつけ安心して入院生活が過ごせるようお手伝いいたします。



よろしくお願ひします。

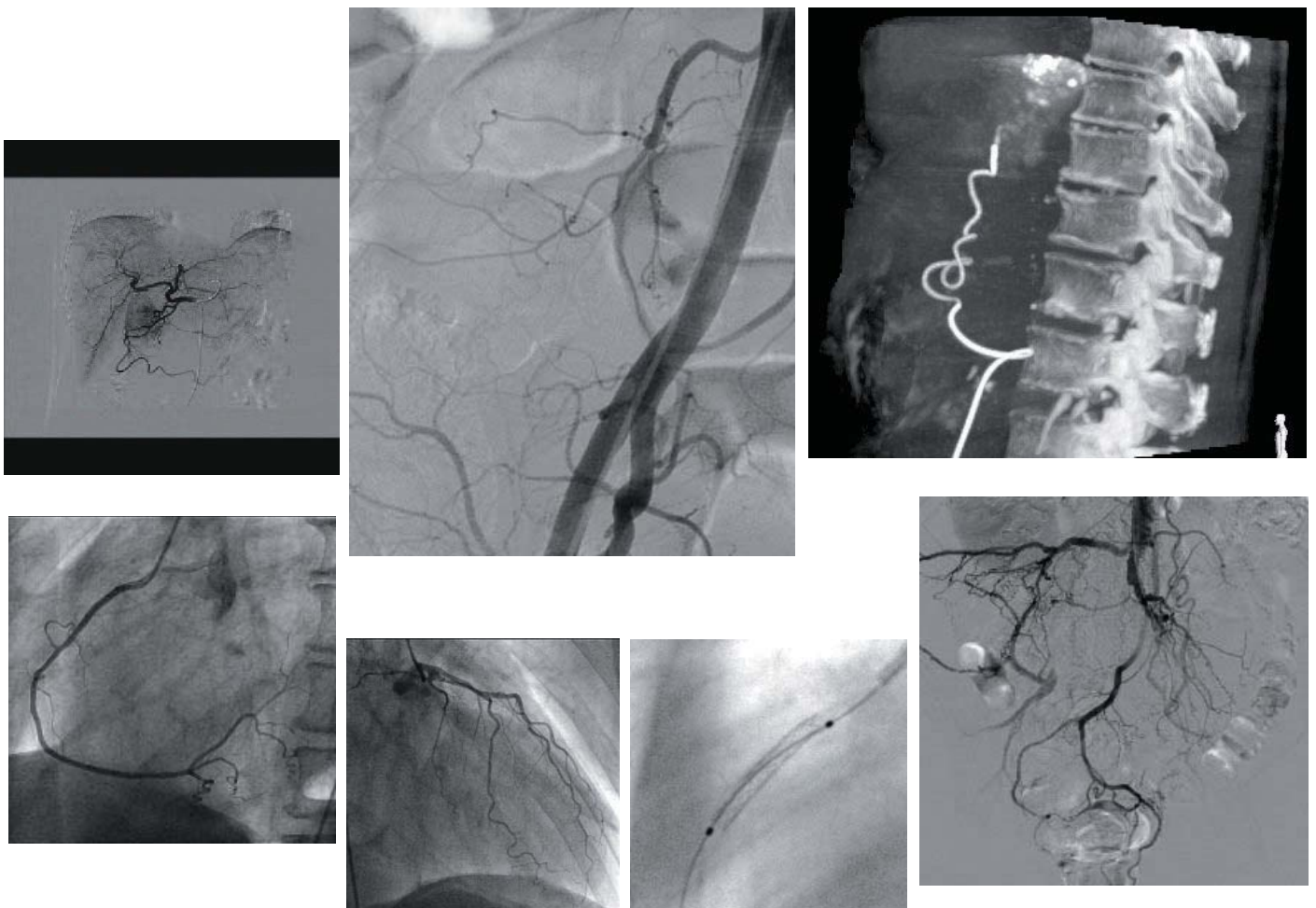
## 血管撮影装置の更新

放射線科では、昨年の64列MD-CT（東芝 Aquilion64CT）の導入に引き続き、この度、血管撮影装置が更新されました。インターベンションの複雑化する手技により、画像への要求は益々高まっている中、新しく導入した装置（PHILIPS Allura Xper FD20）は、高画質と共に検査時間の短縮と最良の臨床結果をもたらす、診断、治療の効果を高める大きな役割を果たす事が可能な装置です。

最新のフラットディテクターが装備され高品質で歪みの無い高分解能画像が得られます。最大視野は30cm × 38cmで、16cm × 16cmまで絞り込む事ができ、複雑な検査、治療に対応できます。

血管造影は、詳しい病変の発生部位、進展範囲、質的診断等々の情報を得ることができます。しかしながら、近年の3DCT、MRI、超音波などの画像診断能の向上により、診断を目的とした血管造影検査の頻度は少なくなり、IVR（治療）を主目的とした血管造影が数多く行われています。

東京病院では、消化器内科により肝細胞癌などに対するマイクロカテーテルを使用した動脈塞栓療法（TAE）が数多く行われています。また、循環器科においては、心疾患（狭心症、心筋梗塞）に対する冠状動脈造影検査とバルーンによる血管形成や再狭窄防止のためのステント留置も盛んに行われています。





## 在宅酸素の会

第26回在宅酸素の会を10月25日（木曜日）午後2時～3時30分に開催しました。在宅酸素療法を受けている患者さまとご家族を含め51名の参加がありました。

今回は、呼吸器科医師による「間質性肺炎の診断と治療」、理学療法士による「呼吸リハビリテーション 考え方と実技」の内容で行いました。

参加された方からは、動作時や動作後の酸素量の増量についてなど様々な質問がありました。時間の制限がありすべての質問に答えられなかったことが残念ですが、これからも日常生活における疑問などにお答えできるようにしていきたいと思えます。

この会は年2回、5月と10月の第4木曜日に定例開催しておりますが、次回からは開始時間が変更になりますのでご注意ください。次回は5月22日（木曜日）午後1時30分～3時30分の予定です。外来診察受付や掲示でお知らせいたしますのでよろしくお願いたします。

5 東病棟 看護師長 大橋千恵子



## 特別メニューを 昨年10月からはじめました。

栄養管理室では一般食を召し上がっている患者さまを対象に『特別メニュー』という選ぶ食事を昨年の10月1日から実施し、好評です。

患者さまには選んでいただくと自己負担額として基準食より1食あたり50円増えますが、選択した食事は以前に比べ充実したものとなっております。

朝食は毎日お選びいただけます。基準食はごはん食ですが特別メニューは写真のようにパン（毎日パンの種類が変わります）・主菜（オムレツや目玉焼きなど）・サラダ・スープ・牛乳がつけます。サラダやスープも毎日変化をつけています。

〔朝食メニュー〕



〔朝食メニュー〕



夕食メニューは水・木・金曜日に実施しております。基準食に比べ、病院食のイメージから脱却し、皆様のアンケートから食べたいメニューをそろえてみました。病院の単調な生活に少しでも楽しみが加わればと思います。下記のように今まで手が込んで、できなかったメニューも入れましたので選ぶことが楽しくなると思います。

（夕食の牛丼）



（夕食の三色どんぶり）



（夕食のオムライス）



写真のように1品もののメニューをたくさん入れてみました。もちろんスープやすまし汁付きで、盛りたくさんです。ぜひ選んでみてください。

常に患者さまのニーズにあったお食事を提供できるよう栄養管理室一同、今後とも楽しいメニューの開発を心がけたいと思えます。皆様からのメッセージをお待ちしております。

栄養管理室





## クリスマス コンサート



2007年12月19日(水) 当院外来ホールにてクリスマスコンサートが開催されました。今回のコンサートでは、杉本夫妻によるダンス、石井さんファミリーによる演奏とコーラスで広いホールも入院中の患者様、家族の方、清瀬市報でコンサートを知った方が多数参加され、入口付近までいっぱいになりました。

15時30分から16時までの30分間でしたが、患者様達から、「癒された」「また開催して欲しい」「ダンスがとても良かった」などご意見を頂きました。2008年も素晴らしいコンサートが開催できるよう今後も努力していきたいと存じます。

看護研究会会長 吉田ひろみ



## イルミネーション

クリスマスが近づくにつれて、街ではちらほらとイルミネーションの飾り付けが目立つようになりました。東京病院の外来の中庭にイルミネーションの飾り付けを行い、患者様がほっとする様な空間を作ろうと話が盛り上がり、イルミネーション担当になってしまいました。

どんな飾りにするかどのようにレイアウトするかイメージを膨らましていると、いろいろな意見が飛び交い、最終的にどんなものかいいのかわからなくなってくる程でした。

いよいよ飾り付けが始まりました。思ったより時間と労力がかかりましたが、出来上がりを見ると頭の中で考えていたよりなかなかの仕上がりとなりました。暗闇に幻想的な光りのイルミネーションに包まれて、みんな足を止めては時間が過ぎるのを忘れて見入っていました。患者様の間でも徐々に広がり、わざわざ外から見に来る人もいました。患者様から「今年から始めたんですか」「本当きれいですね」など声を掛けられてとてもうれしかったです。準備までの苦労等が一気に吹っ飛び達成感と満足感を得られました。

今年の出来を振り返ると、少し暖色系の色が少なかったかなと感じました。来年はもう少しバージョンアップして今年以上のイルミネーションにしたいと思いました。

職員係長 白石 邦夫



## 東京病院自衛消防隊員

平成19年9月28日に清瀬市管内事業所による毎年恒例の自衛消防訓練審査会がありました。東京病院が開催場所です今年で3回目となりました。今年も、男子隊1チーム、女子隊1チームが審査会に参加しました。

自衛消防訓練審査会の内容は、火災発生時の初期消火、119番通報、非常放送、屋内消火栓による消火活動を迅速に且つ、きびきびとした態度であるかなどを審査するものです。

隊員たちは、消防署職員の指導の元で気合充分で練習しました。最初は、恥ずかしがって声も充分出なくて心配でしたが、練習を重ねるに連れていい具合に仕上がりました。

さて、いよいよ本番の日です。他の事業所の隊員の動きを見てみるとみんな相当練習してきたなと感じました。当院の隊員達も負けてはいませんでした。走る姿、敬礼時の姿勢、とても格好良かったです。隊員達が審査を終え、「お疲れ様でした。」と声を掛けた瞬間、緊張感が解けてほっとした笑顔を見せてくれました。

結果は・・・男女とも敢闘賞をいただきました。優勝には及ばずもう一歩でしたが、実際行った隊員達は大きな仕事をした後の達成感に包まれていることでしょう。

最後に、毎日のように練習に励み、頑張った隊員のみなさん、本当にお疲れさまでした！！

職員係長 白石 邦夫



## 平成19年度「患者さま満足度調査」について

### 平成19年度 国立病院機構全体及び前年度比較

・シーン別

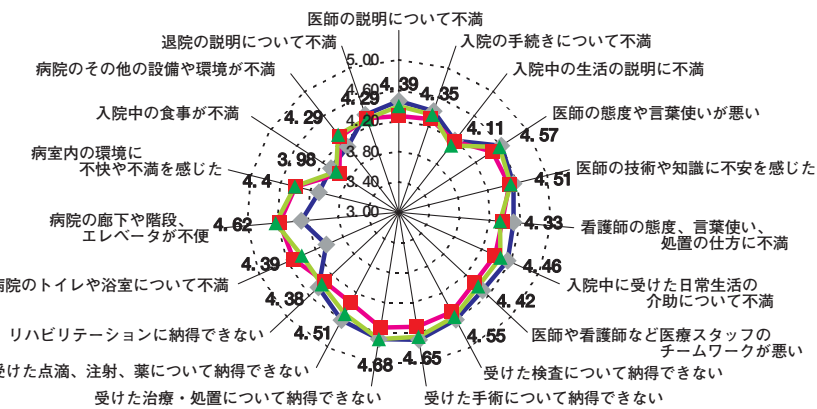
毎年、国立病院機構の全ての施設において、患者さまの価値観を尊重しサービスの質の向上を図るため、「患者さま満足度調査」と題し、アンケート調査を実施しています。当院では昨年、7月30日から8月29日の間にご退院された患者さまと、8月2日と3日にご来院された外来患者さまを対象にアンケート調査をさせていただいたところ、退院患者さま266人、外来患者さま349人の方にご回答を得ることが出来、大変感謝しております。

アンケート調査の内容は、診療に関わる職員の態度・能力、病院の設備・環境等の項目があり、アンケートは100問程度で、個人的なご意見も自由にご記入いただけるようになっていました。個人的なご意見では、当院の良い点・悪い点のご指摘が半々位あり、患者さまの生の声を聞くことが出来、大変有意義であると感じました。

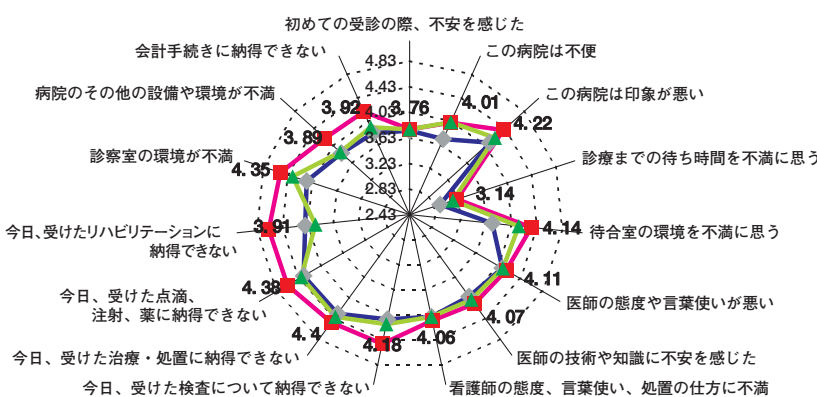
今回の調査結果を点数化し比較したところ、入院においては機構全体比及び前年度比ともに良い印象でしたが、外来においては、前年度比が若干悪い印象となっていました。

今後、この「患者さま満足度調査」の分析結果を基に、様々な改善に繋げ、より良い病院といたしますよう引き続き職員一同努力してまいります。

#### 入院



#### 外来



※各項目毎に5点満点とし、円が大きいほど良い印象となります。



専門外来案内

専門外来名	診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください	
肝臓	月～金	体がだるい、黄疸や食欲の低下、健診で肝障害のある方、平成4年以前に輸血を受けた方。	
呼吸器 関係 外来	喘息	火(午後)	「喘鳴」「発作性の咳」が主な症状です。特に夜間から明け方の咳き込みは要注意です。
	喘息・アレルギー(予約制)	金(午前)	気管支喘息(難治性)、花粉症などのアレルギー疾患で悩んでいる方。「慢性的咳」の中には、アレルギーに関連しているものもあります。
	禁煙(予約制)	水(午前) 木(午後)	タバコがどうしてもやめられない方。(当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険が適用となりました。)
	肺がんセカンドオピニオン(予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。[30分:5,250円]
	間質性肺炎	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。治療が難しく、膠原病に合併する場合があります。
	非定型抗酸菌症	月(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
	気胸	火	突然の胸痛、息苦しさを感ずります。
	いびきCOPD(睡眠時無呼吸症候群の検査)	月～金	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。
アスベスト(予約制)	水(午前)	アスベスト(石綿)を扱うお仕事をされた方。アスベスト吸入による肺の病気について御心配な方(予約制です)	
手掌多汗症	金	今増加している疾病です。手のひら、腋、顔面の発汗が多い症状です。(汗で手が滑る、握手もできないこともあります。)	
ものわすれ外来	水(午後)	最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。(あらかじめ神経内科を受診して下さい。)	
高次脳機能外来	木(午後)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など(要神経内科外来受診。)	
糖尿病	木(午後)	のどがかわきやすい、体重が減ってきた。(無症状が多いので、健康診断で異常を指摘される場合が多い。)	
緩和ケア	木・金(午前)	末期の悪性腫瘍やエイズによる痛みやいろいろな症状でつらい思いをされている方。	

受付時間 8:30～11:00 診療時間 8:30～17:15

午後の専門外来は、12:30より受付

休診日 土・日・祝祭日および年末年始(12月29日から1月3日)

代表電話番号 042-491-2111

内線番号がおわかりの方は042-491-4134

(ダイレクト・イン・ダイヤル)をご利用下さい

医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合(医療機関)

外来診療の予約 : 診療依頼書をFAX送信して下さい

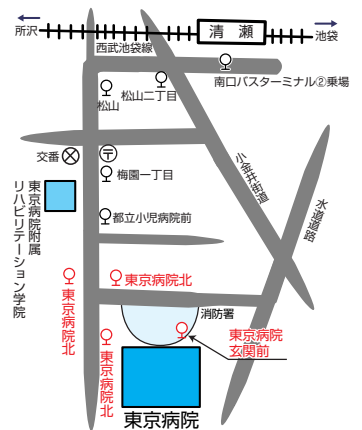
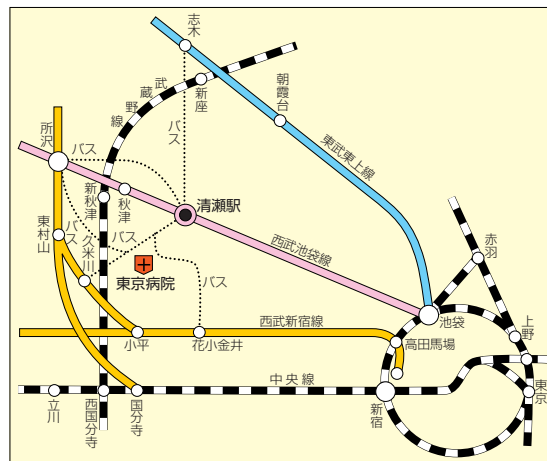
FAX 042-491-2125 (8:30～15:30)

CT・MRI検査の申し込み : 医療連携室へお電話下さい

TEL 042-491-2934 (8:30～17:15)

診療内容 病床数560床

- 呼吸器科
- 消化器科
- 循環器科
- リハビリテーション科
- 呼吸器外科
- 消化器外科
- 神経内科
- 内外科
- 外科学科
- 放射線科
- 麻酔科
- 整形外科
- 緩和ケア科
- ICU(集中治療室)



交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅よりタクシー10分、または西武池袋線に乗り換え。
- 西武新宿線 久米川駅南口バス3番乗り場より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)

- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車でお越しの際は正面よりお入り下さい。(駐車場265台)
  - 30分以内 無料
  - 31分～2時間 100円
  - 以後1時間毎 100円
  - (20時15分～7時 1時間毎300円)